

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年1月19日 (2012.1.19)

【公開番号】特開2010-228570(P2010-228570A)

【公開日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【年通号数】公開・登録公報2010-041

【出願番号】特願2009-77910(P2009-77910)

【国際特許分類】

B 6 2 M 7/12 (2006.01)

B 6 0 K 7/00 (2006.01)

B 6 2 M 23/02 (2010.01)

B 6 2 L 1/00 (2006.01)

【F I】

B 6 2 M 7/12

B 6 0 K 7/00

B 6 2 M 23/02 1 1 0

B 6 2 L 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月21日 (2011.11.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

以下、本発明に係るモータ駆動車両の実施の形態について図面を参照して説明する。

図 1 は本発明に係るモータ駆動車両の一実施の形態を示す側面図、図 2 は要部を示す正断面図である。

この実施の形態のモータ駆動車両 1 0 は自動二輪車であり、車体をなすフレーム 1 1 を有している。このフレーム 1 1 の前端を構成するヘッドパイプ 1 2 に操舵自在にフロントフォーク 2 0 が取付けられ、このフロントフォーク 2 0 の上部にバーハンドル 1 4 が取付けられている。フロントフォーク 2 0 の下端に前輪 3 0 が取り付けられている。フレーム 1 1 の内側にはエンジン 1 5 が固定されている。エンジン 1 5 には吸気装置 1 5 i と排気装置 1 5 o とが接続されている。フレーム 1 1 の後部には、左右一対のスイングアーム 1 6 がピボット軸 1 3 で上下スイング自在に取り付けられており、このスイングアーム 1 6 の後端部に後輪 1 7 が取り付けられている。後輪 1 7 は、エンジン 1 5 により図示しないチェーンやドライブシャフト等の駆動伝達手段を介して駆動される。1 8 はリヤクッションユニットであり、上端がフレーム 1 1 の後部上部に連結されるとともに下端がリンク機構 1 8 b を介してスイングアーム 1 6 の下部と車体フレーム 1 1 の後部下部和に連結されている。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 9】

C 車体中心

1 0 モータ駆動車両

1 1 車体フレーム
2 0 フロントフォーク
2 1 車輪軸
3 0 駆動輪
3 1 ホイールハブ
3 1 e 環状端部
4 0 モータ
4 1 ロータ
4 2 ステータ
5 0 制動機構
6 0 車体側固定部材
6 0 e 環状端部
7 0 ワンウェイクラッチ

【手続補正3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 1】

図 1

